

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより 第3号

令和4年6月24日

感じたこと、考えたことを整理しましょう！

2・3年生現場実習に向けての実習壮行会が10日に行われました。2年生は初めて一人で行う実習に緊張の面持ちが隠せません。3年生はいよいよ勝負の実習となり表情にも覚悟が感じられました。1年生にとって現場実習は未知の世界となりますが、ただ事ではないという雰囲気を感じとっている様子でした。

13日から2週間の予定での現場実習。本日最終日を迎える生徒が多いかと思います。(企業様の都合により前倒しで行なったり期間が短かったりこれから開始だったりという生徒もいます)担当の教職員は中間面接で生徒の様子を見ながら状況に合わせて励ましたり、不安解消に努めたりしてきました。保護者の方も評価日にはご同行いただきありがとうございました。企業の方からは「明日からでも働けますね」「職員の誰よりも入力速いです」等の嬉しい言葉や「言葉遣いと服装は注意が必要です」「仕事内容が難しかったようですね」等の厳しい声も頂いております。今回の評価で一喜一憂することもあるかもしれませんが、良い評価を受けたからといって浮かれることなく、逆に評価が今一つだったからといって落ち込むことなく、冷静に受け止め、この後自分がすべきことを考える機会にすることが大事なのではないかと思います。



現場実習を終えた今は、「終わった～」「頑張った～」と安堵感や充実感を味わっているのではないのでしょうか。この感覚を味わうこともとても重要です。やり遂げたということだけでも相当な自信になっていることと思います。次につながる大きな一歩となります。今回の現場実習では、気持ちや体調が整わず苦しい思いをした人や、正直、具体的な目標をもてずに、何となく実習に行って、何となく実習を終えてしまった人もいるかもしれません。それでも評価を頂いてきていると思いますので、どんなことで褒められたのか何が改善点なのか、そして現場実習で感じたことや自分の気持ちをしっかり整理していきましょう。感じたことや気持ちを言葉や文章にするのは大変かもしれませんが、自分に素直に正直にまとめていきましょう。言葉や文章にすることでボワッとしていた自分の考えや目標がはっきりしてくると思います。考えや目標がはっきりしてきたら、後はもう実践するのみです。この一喜一憂は現場実習のたびに繰り返されると思います。でも、この繰り返しが皆さんの成長に確実につながっていきますので頑張ってください。

とにもかくにも現場実習お疲れさまでした。知らず知らずのうちに緊張で疲れが溜まっていることと思いますので、まずは体と心をゆっくり休めてください。(これから実習の人はゴメンナサイ。もう少し緊張感が続きますね。頑張れ～！)

校長 三宅 健二郎